## 地域公共交通確保維持改善事業・事業評価(生活交通確保維持改善計画に基づく事業)

平成31年1月 日

協議会名: 美濃市地域公共交通会議

評価対象事業名: 地域内フィーダー系統確保維持国庫補助金

①補助対象事業者等	②事業概要	③前回(又は類似事業)の 事業評価結果の反映状況	④事業実施の適切性	⑤目標・効果達成状況	⑥事業の今後の改善点 (特記事項を含む)
【補助対象となる事業者 名等の名称を記載】	金の交付を受けている場合、 離島航路に係る確保維持事	【事業評価の評価対象期間 において、前回の事業評価 結果をどのように生活交通確	A・ B・ に実施されたかを記載。計 画どおり実施されなかった 場合には、理由等記載】	A ・	【事業の今後の改善点及びより適切な目標を記載。改善策は、事業者の取り組みだけでなく、地域の取り組みについて広く記載。特に、評価結果を生活交通確保維持改善計画にどのように反映させるか(方向性又は具体的な内容)を必ず記載すること。】 ※なお、当該年度で事業が完了した場合はその旨記載
美濃タクシー株式会社久愛商事有限会社	乗り合わせタクシー 区域運行(市内全域)	平成25年10月の本格運行以降、利用者数は増加傾向にあったものの、平成28年は対前年比でやや微減したことがら、非利用者も含めた市民アンケートを実施した。のり愛くん自体は知っているが、その利用方法を知らないという意見が多くあったため、市広報誌に停留所マップも含め利用方法の周知を行った。	A 計画通り事業は適正に実施された。	実績:69%(達成) =====【一人当たりの運行経費】===== 目標:950円/人以下	今後、ますます新規利用者の取り込みが必要となるため、市広報誌を通じて利用方法の周知を行う。 比較的若い世代については、他モードへの乗り換え利便性をアピールし、他公共交通機関とあわせたPRを行う。 高齢者については、運転免許の自主返納者をターゲットとしたPRを行う。

## 事業実施と生活交通確保維持改善計画との関連について

平成31年1月 日

協議会名:美濃市地域公共交通会議

評価対象事業名:

地域内フィーダー系統確保維持費国庫補助金

地域の交通の目指す姿(事業実施の目的・必要性)

平成25年6月に美濃市地域公共交通計画を策定(平成25年度~平成34年度)。公共交通の将来像として公共交通のサービス水準、「市内の各地域から中心市街地へは、直通で30分を目安に移動できること」、「市内の各地域から市外へは、直通もしくは1回の乗り継ぎで移動できること」の2点を設定し、誰もが安全に安心して自由に移動できる公共交通を確保し、効率的かつ効果的な運行をすることを目標としている。